

災害に強い 命の道路が開通



11月19日午後3時、三陸沿岸道路「山田宮古道路」が開通しました。同日、町と宮古市は開通記念イベントを行い、開通を祝いました。今号では、イベントの様子や、山田宮古道路の概要についてお知らせします。

開通式に約1200人参加

各種イベントで開通祝う

11月19日、宮古市津軽石地内で山田宮古道路の開通式典が行われ、約1200人が参加しました。会場では、町と宮古市の特産品を使用した食のお振る舞いやパトカー、消防車、災害対策車の展示、開通記念のウォーキングなどの各種イベントを実施。また、山田南小学校（小島正弘校長）の虎舞や津軽石小学校のさんさ踊りなども行われ、会場に花を添えました。続いて行われた式典では、出席した鈴木俊一五輪相が「6年8カ月前

の震災で、私達は災害に強い道路の重要性を学んだ。今回の開通は復興のシンボルです」と祝辞を述べ、主催者代表あいさつで佐藤町長は「震災後事業化区間で初めての開通はとてもありがたい。開通により、県立宮古病院までの移動時間が大幅に短縮される。まさに命をつなぐ道路であり、町民にとって重要な道路だ」と力を込めました。その後、テープカットとくす玉開通を盛大に祝いました。

INTERVIEW



祝田 ^{こうすけ}高佑君
(飯岡・12)

すごい道路で驚きました。ここで、虎舞を披露できたことは、一生の思い出になると思います。



木下 ^{かずし}一志君
(長崎・12)

テープカットに参加しました。この道路を通る人みんなが安全運転で、事故のない道路になってほしいです。



昆 ^{みのる}實さん
(船越・74)

ウォーキングに参加しました。立派な道路を歩くことができ、気持ちがよかったですね。



堂々とした演舞を披露



特産品のお振る舞いは大盛況



自動車専用道路をウォーキング



開通パレード盛大に

事業化から約6年で開通

高速道路ネットワークが形成



山田宮古道路の位置図

◎延長は約27^キ

宮古市金浜―山田町山田を結ぶ山田宮古道路は、三陸沿岸道路（仙台市―八戸市）の一区間で、延長約14^キの自動車専用道路です。今回の開通は、復興道路・復興支援道路の震災後事業化区間では初めて。上図のとおり、すでに開通している山田道路（延長7・8^キ）と宮古道路（延長4・8^キ）とつながり、合わせて約27^キとなり、高速道路ネットワークが形成されました。山田宮古道路は、被災地の早期復興を図るリーディングプロジェクトとして平成23年11月に事業化され、25年6月に着工。事業費は約570億円。事業化から約6年という早さで開通となりました。

◎高速道路ナンバリングを設置

山田宮古道路には、県内で初めて高速道路ナンバリング標識（E45）が設置されました。これは、わかりやすい道案内のためのもので、右下図のような標識となります。

高速道路ナンバリング E45とは？



標識イメージ

高速道路ナンバリングとは、訪日外国人をはじめとする全ての利用者に分かりやすい道案内を実現するために導入するものです。山田宮古道路を表す「E45」のうち、EはExpressway（高速道路）の頭文字、45は山田宮古道路と平行して走る国道45号から採用されました。県内での設置は初めてとなります。

災害に強い「命をつなぐ道路」

津波浸水区域を回避

山田町を通る国道45号は過去の津波の浸水区域に位置しています。平成23年3月11日に発生した東日本大震災の際にも、道路が浸水。交通ネットワークが寸断されました。しかし、山田宮古道路は、津波浸水区域を回避し、災害時にも利用すること

が可能に。う回路で約131分掛かっていた宮古市役所―山田町役場も、開通後は約25分に短縮されます。県立宮古病院などへの移動時間も短縮され、まさに『命をつなぐ道路』です。その他、交通の利便性向上による観光振興や、沿岸地域の特産品をより新鮮な状態で輸送できることによる産業振興も期待されます。

◆ 総延長359^キのうち、184^キが開通した三陸沿岸道路。◆ 今後も、大槌インターチェンジ（IC）（仮）―山田南ICが30年度、釜石北IC―大槌IC（仮）が31年度に開通予定で、32年度の全線開通を目指しています。



三陸沿岸道路ルート（ピンク）と
う回路（緑）